

FIX シリーズ 推奨R形適合圧着端子一覧表

2016-06-08

形式		F-10	F-15S FTD-15S	F-15	F-20	F-25	F-35	F-60	F-80	F-125	F-200	F-300	F-400	F-600	F-800
ネジサイズ		M3.5	M3.5	M3.5	M4	M4	M5	M6	M6	M8	M10	M10	M12	M16	M16
締付トルク		0.8～1.2Nm	0.8～1.2Nm	0.8～1.2Nm	1.2～2.0Nm	1.2～2.0Nm	2.0～2.5Nm	3.5～5.0Nm	3.5～5.0Nm	8～10Nm	15～20Nm	15～20Nm	25～35Nm	50～60Nm	50～60Nm
電 線 サ イ ズ	0.5mm ²	－	R0.5-3.5(F,D)	R0.5-3.5(F,D)	R0.5-4(F,J,D)	R0.5-4(F,J,D)	R0.5-5(F,J,D)								
	0.75mm ²	R1.25-3.5	R1.25-3.5	R1.25-3.5	R1.25-4	R1.25-4	R1.25-5	R1.25-6	R1.25-6	R1.25-8	R1.25-10 (F,J,N)	R1.25-10 (F,J,N)	R1.25-12 (J,D)		
	1.25mm ²	◎1.25-M3.5(D)	R1.25-3.5	R1.25-3.5	R1.25-4	R1.25-4	R1.25-5	R1.25-6	R1.25-6	R1.25-8	R1.25-10 (F,J,N)	R1.25-10 (F,J,N)	R1.25-12 (J,D)	R2-16 (F,J)	R2-16 (F,J)
	2mm ²		◎R2-3.5(N)	◎R2-3.5(N)	R2-4	R2-4	R2-5	R2-6	R2-6	R2-8	R2-10	R2-10	R2-12	R2-16 (F,J)	R2-16 (F,J)
	3.5mm ²				◎R3.5-4(D)	R3.5-4	R3.5-5	R3.5-6	R3.5-6	R3.5-8	R3.5-10(D)	R3.5-10(D)	R3.5-12(D)	R5.5-16 (F,J,D)	R5.5-16 (F,J,D)
	5.5mm ²					◎R5.5-4(D)	R5.5-5	R5.5-6	R5.5-6	R5.5-8	R5.5-10	R5.5-10	R5.5-12	R5.5-16 (F,J,D)	R5.5-16 (F,J,D)
	8mm ²						◎R8-5(D)	R8-6	R8-6	R8-8	R8-10	R8-10	R8-12	R8-16 (F,J,D)	R8-16 (F,J,D)
	14mm ²							◎R14-6(D)	R14-6	R14-8	R14-10	R14-10	R14-12	R14-16	R14-16
	22mm ²								◎R22-6(D)	R22-8	R22-10	R22-10	R22-12	R22-16	R22-16
	38mm ²									R38-8	R38-10	R38-10	R38-12	R38-16	R38-16
	60mm ²									◎R60-8(D)	R60-10	R60-10	R60-12	R60-16	R60-16
	100mm ²										◎R100-10(D)	R100-10	R100-12	R100-16	R100-16
	150mm ²											◎R150-10(D)	◎R150-12(D)	R150-16	R150-16
	200mm ²													◎R200-16(D)	R200-16
	250mm ⁺													R250-16(J)	R250-16(J)
	325mm ⁺													R325-16	◎R325-16(D)

注1: 適合圧着端子は下記のメーカーのものを推奨します。また、一覧表の記号の意味は次の通りです。
F: 富士端子工業(株)製品、J: 日本圧着端子製造(株)製品、N: (株)ニチフ製品、D: 大同端子製造(株)製品

()内のメーカー略記号は、そのメーカーの製品のみ適合しています。
◎印は、下側に最大圧着端子を接続した状態で、上下に2枚の圧着端子が接続できます。
(記載のメーカー品にて確認しておりますが、他メーカーの圧着端子をご使用の場合は、現物での御確認をお願いします。)
※◎以外の2枚圧着接続については、別途お問い合わせ下さい。

注2: 上下に2枚の圧着端子を接続する場合、合計の電流が定格通電電流以下となるようにご使用願います。

注3: UL/CSA規格認定品については、UL/CSA登録の圧着端子をご使用願います。

注4: 圧着端子は、絶縁確保のため絶縁被覆付か、またはエンドキャップ、マーキングチューブを使用することをお奨めします。
なお、エンドキャップは、保護カバーと接触しないように装着願います。

注5: 圧着端子を接続しない状態で、端子ネジを空締めしないで下さい。ネジ機能の低下やネジ部が破損する恐れがあります。
なお、空締めを行なう必要が生じた場合には、ネジ機能の低下がないように推奨締付トルク範囲の最小トルク以下でお願いします。

注6: 端子ネジあたり2枚の圧着端子を同時に接続する場合は、右図に示しますように上下に2枚としてください。

